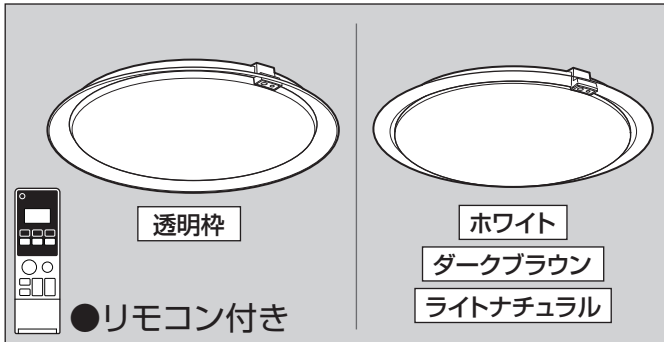


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



住宅用照明器具 (シーリングライト)

ECONAVI

LEDシリーズ

※対象品番は23ページの仕様欄を
参照ください

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を
必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず
確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

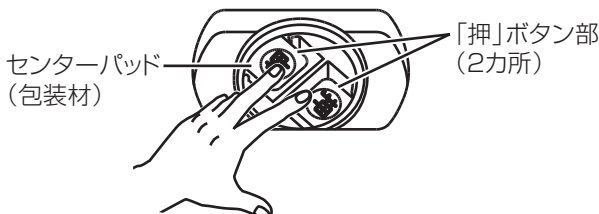
工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- 施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を
使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が
生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保
証の対象外となります。

施工前に必ず器具を底板(包装材)から取り外してください。

器具を底板から取り外す方法

- ①器具のカバーを外す
☞7ページ「カバーの外しかた」参照
- ②器具中心部のセンターパッド(包装材)の「押」ボタン部
(2カ所)を押しながら本体を持ち上げる



もくじ

安全上のご注意	2
ご使用上に関するお知らせ	3
各部のなまえと付属部品	4
取り付け前のご確認	5
照明器具を取り付ける	6
照明器具を取り外す	7
各部のはたらき	8
あかりをつける	10
エコナビとは	11
エコナビの各種設定と使いかた	12
おまかせモードとは	15
おまかせモードの設定	16
リモコンの便利な使いかた	18
るすばんモードとは	19
るすばんモードの設定	19
故障かな?と思ったら	20
教えて!Q&A	22
お手入れについて	23
仕様	23
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

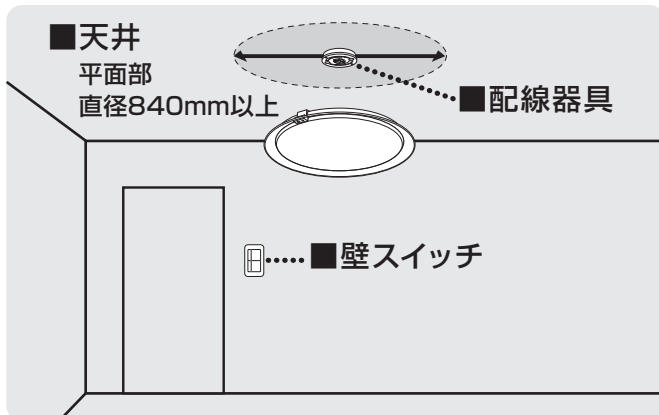
警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告



■天井

- 必ず守る** ●必ず上図のような平面部の直径が840 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。
- 禁止** ●凹凸のある場所に取り付け
落下によるけがのおそれがあります。
船底天井 × 格子天井 × 竿縁天井 ×
○アダプタ(別売:品番HK9058)を使用した場合は、竿縁天井に取り付けできます。詳細はアダプタの取扱説明書をご参照ください。
- 禁止** ●補強のない場所(ベニヤ板や石こうボードなど)に取り付け
落下によるけがのおそれがあります。
- 禁止** ●傾斜した場所に取り付け
火災、落下によるけがのおそれがあります。
○この器具は水平天井面取り付け専用です。

■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 × ×
がたつき・破損
- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。
内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの
 × ×
ローゼット10mm未満 引掛シーリング19mm未満
斜めに取り付けられたもの シーリングハンガーが取り付けられたもの
シーリングハンガー
ケースウェイに取り付けられたもの 電源端子露出タイプ
電源端子



■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。
 × → ○
- 販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)



■その他

- 分解禁止** ●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 必ず守る** ●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。
- 必ず守る** ●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- 必ず守る** ●アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。
- 必ず守る** ●本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。
- 必ず守る** ●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎ 1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

◎ お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

- ◎ この器具は防湿、防雨型ではありません。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。

◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- リモコンのLED手元灯やカバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

- カバーを回して外す時は枠を持って回さない
本体が落下してけがの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

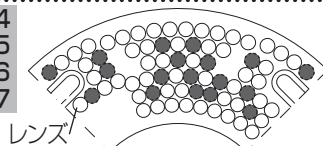
故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
・リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- リモコンの電池を取り外した場合、リモコンのチャンネルが初期設定に変わることがあります。その際は、リモコンのチャンネルを変更してください。
☞ 18ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順 ② 参照
- リモコンのLED手元灯が点灯している場合やリモコンの液晶が表示している場合でも、電池の消耗により照明器具の操作ができない場合があります。(LED手元灯の点灯中は、電池の消耗に関わらず照明器具の操作が行えません。)
- リモコンのボタン操作により液晶表示部がちらつく場合があります。
- リモコンは温度の高いところ、湿気の多いところで使用しないでください。水、コーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。故障の原因となることがあります。
- LED、常夜灯にはパツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- LEDの配置の関係上、一部光らないレンズがあります。
- パッキン(ムシブロック)は虫の侵入を完全に防止するものではありません。周囲環境、虫の種類によっては防虫効果が減少する場合があります。
- 皮膚にアレルギーを起こしやすい体質の方は、パッキン(ムシブロック)に触れるとかぶれなどを起こす可能性がありますので触れないようにしてください。パッキンに触れた場合には、念のため水でよく洗い流してください。
- パッキン(ムシブロック)・キレイコートは経年劣化により、効果が多少減少します。(使用環境により程度は異なります) ☞ お手入れについては、23ページ「お手入れについて」参照

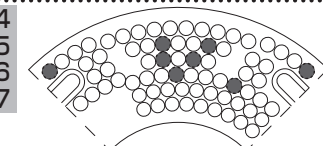
レンズの●部分は、光りません。
(下図はレンズの1/4を表しています)

LGBZ1614
LGBZ1615
LGBZ1616
LGBZ1617

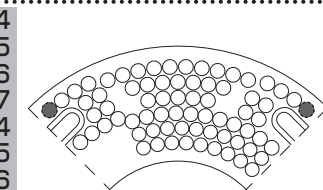


レンズ

LGBZ2614
LGBZ2615
LGBZ2616
LGBZ2617



LGBZ3614
LGBZ3615
LGBZ3616
LGBZ3617
LGBZ4614
LGBZ4615
LGBZ4616
LGBZ4617



【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

【エコナビ点灯時、場合によっては下記の現象が起こることがあります】

- お部屋の床やテーブルなどの色味が濃い場合に器具の真下で…

・新聞紙や雑誌などを広げたとき
・白いお皿を並べたとき
・白い衣服で座ったとき

- 近くにある他の照明を点灯させた場合

・壁面のブラケットを点灯
・ダイニングの照明を点灯
・デスクスタンドを点灯

- その他の場合

・明るさセンサーに窓からの太陽光が床面、ブラインドなどで反射し、入ったとき
・器具の真下に長時間立ったとき
・器具の真下に白い敷物を敷いたとき
・明るさセンサーに鏡の反射光が入ったとき



左記のような条件下では照明が暗くなる、または消灯する場合がありますが、異常ではありません。気になる場合はエコナビ点灯中の調光時の明るさを明るくするか

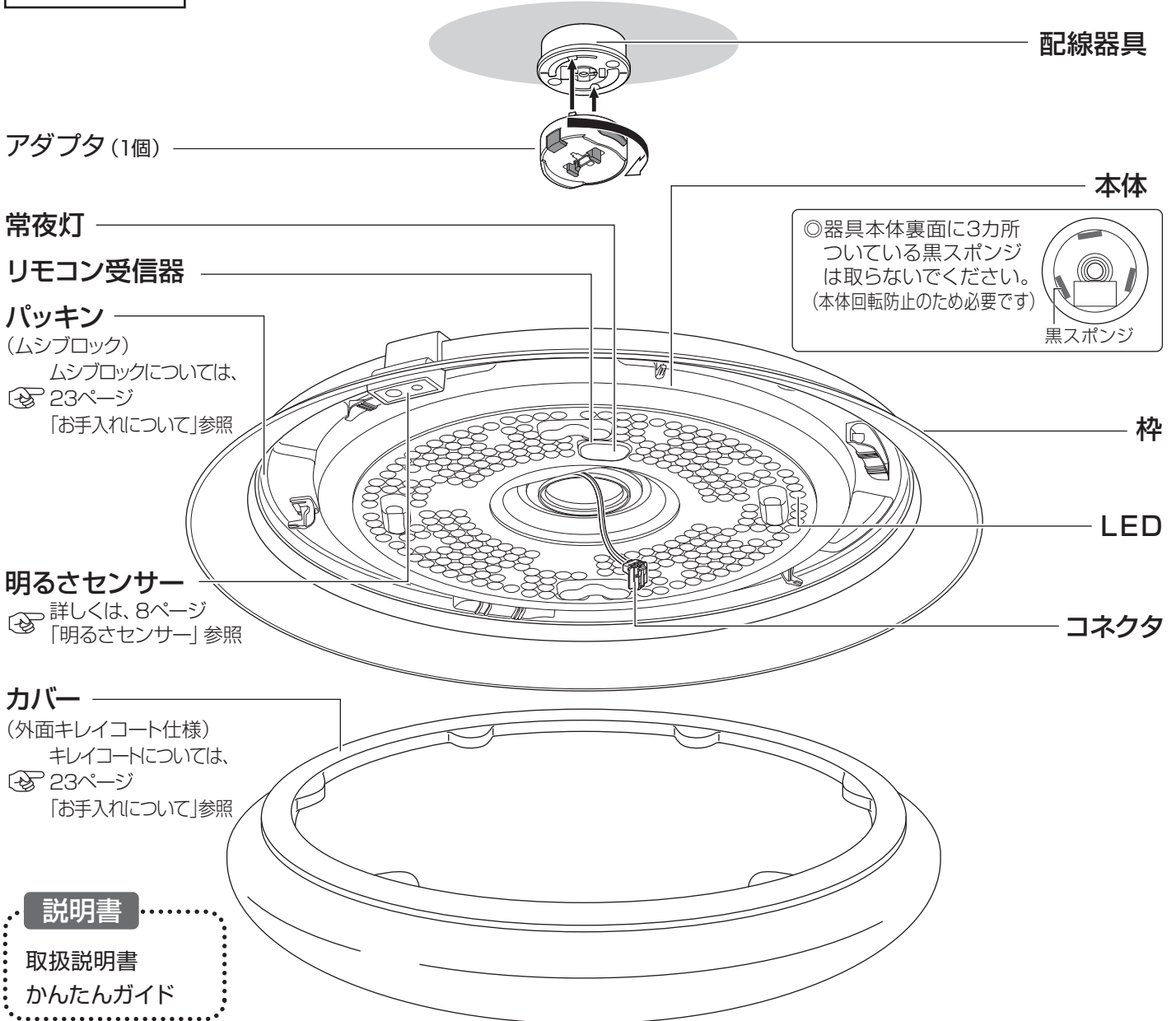
(☞ 14ページ「エコナビ点灯中の調光時の明るさを明るくする」参照)

「点灯・普段ボタン」または「全灯ボタン」を押してご使用ください。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

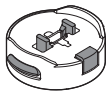
照明器具 (枠形状は品番により異なります)



本体取り付け用 付属部品

アダプタ (1個)

補修品番
NZ2717M



配線器具

丸型フル引掛シーリング
(1個)



●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

引掛シーリング用

木ネジ (2本)



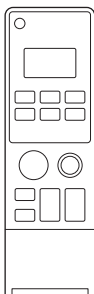
リモコン付属部品

リモコン (1個)

補修品番:HK9803MMM

☞ 操作方法は、
8~10、12~19ページ
参照

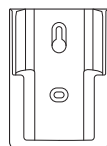
液晶面に保護シートを
貼付していますので、
はがしてご使用ください。



単3形
乾電池
(2本)



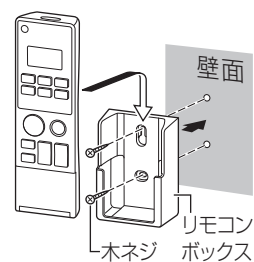
リモコン
ボックス (1個)



リモコン
ボックス用
木ネジ (2本)



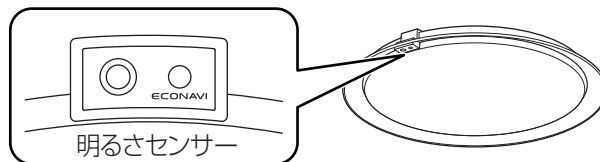
●リモコンボックスを使用して、
紛失防止用に壁掛け収納できます。



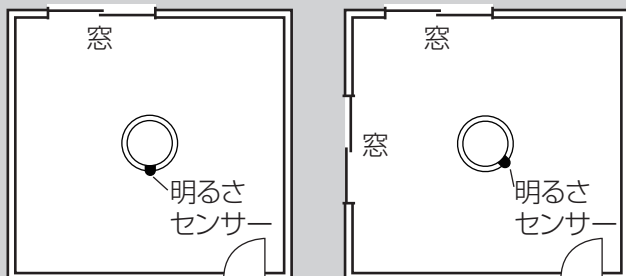
取り付け前のご確認

■ 明るさセンサーの方向

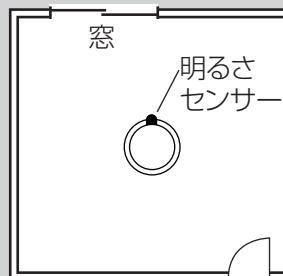
明るさセンサーの位置を窓から離れたところにくるように取り付けてください。



良い例 ○



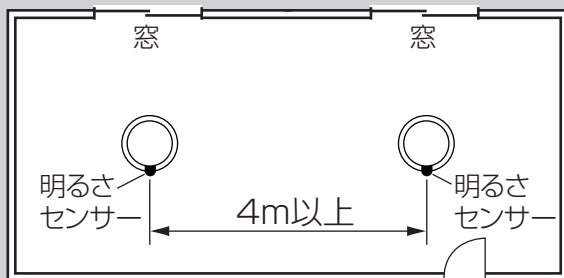
悪い例 ✕



注意 窓の外の光を直接検知すると、設定よりも暗くなるおそれがあります。

■ 同一部屋内で複数灯設置する場合の制約条件

2台設置時は明るさセンサーを4m以上離してください。



注意 近接設置すると明るさのバランスが悪くなり、器具が交互に明暗を繰り返すおそれがあります。

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。☞ 3ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

- ◎ローゼットへの取り付けで取付金具(ハンガー)部に既設器具などのネジが付いている場合は取り外してください。
- ◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。
- ◎工事には資格が必要です。

天井からの出しりが 22 mm の配線器具		天井からの出しりが 11 mm の配線器具
丸型フル引掛シーリング WG5005 WG5015	丸型引掛シーリング WG4000 WG4420 WG4425 WG1500	引掛埋込ローゼット WG6000 WG6420 WG6130
フル引掛ローゼット WG6005	角型引掛シーリング WG1000	引掛埋込ローゼット(ハンガーなし) WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる

②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

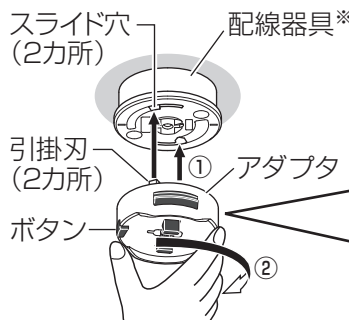
確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



警告

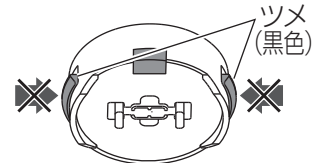


アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



※: 代表例を表示しています

× アダプタのツメ(黒色)を押さえないこと



アダプタのツメを押さえた状態では取り付けできません

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

①本体中心にセンターパッドが取り付いていないか確認する

→ 取り付いている場合は、取り外す

☞ 表紙「器具を底板から取り外す方法」参照

②アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

◎配線器具により本体の取付位置が異なります。

右記を参考に押し上げてください。

◎本体を水平にし、均等に押し上げてください。

◎器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。

本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→ 取り付けできない場合は、

(1) アダプタを外す

☞ 次ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照

(2) 再度、手順 2 を行う



警告



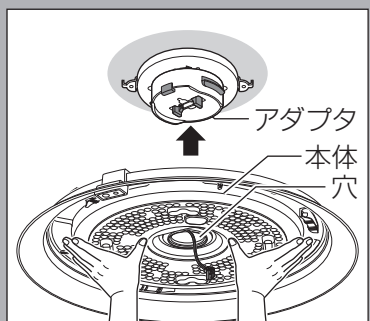
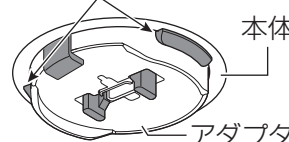
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



**カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる**

アダプタの本体取り付け位置

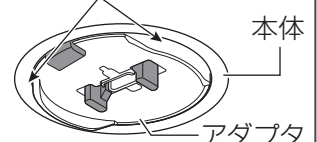
アダプタのツメ(黒色)が
両方見える



**カチッと1度、音が
するまで押し上げる**

アダプタの本体取り付け位置

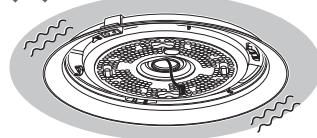
アダプタのツメ(黒色)が
両方見えない



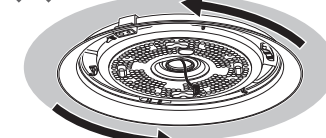
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

× 本体がグラグラする



× 本体が簡単に回転する

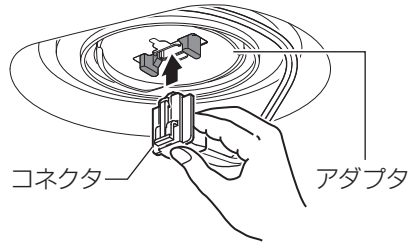


上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。



5 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタをアダプタに
確実に差し込む

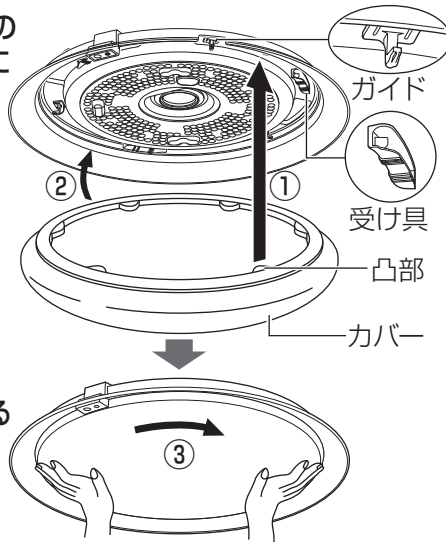


確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順③に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して(☞下記「照明器具を取り外す」手順①参照) 本体を押し上げる(☞前ページ手順③参照)

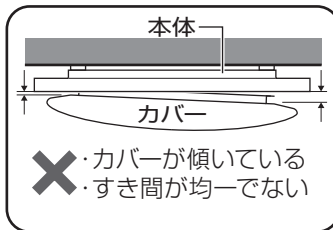
6 カバーを取り付ける

- ① カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる
- ② カバーを持ち上げる
- ③ カバーを回転が止まるまで右に回す(回転角度は、最大で約50度)
- ④ カバーが右に回転しないことを確認する



確認

- カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す ☞ 下記「照明器具を取り外す」手順①参照
(2) 本体を押し上げる ☞ 前ページ 手順③参照
(3) コネクタを差し込む ☞ 上記 手順⑤参照
(4) 再度、手順⑥を行う
- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順⑥を行う



警告



本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

注意



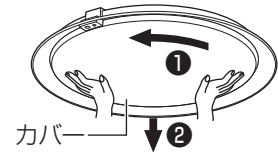
カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



枠を持って回さない
本体が落下してけがの原因となることがあります。

カバーの外しかた

- ① カバーを左に約20度回す
- ② カバーを外す



確認

- カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
枠を押さえながらカバーのみを左に回して外し、本体を正しく取り付ける
☞ 左記 確認 手順(1)~(3)参照

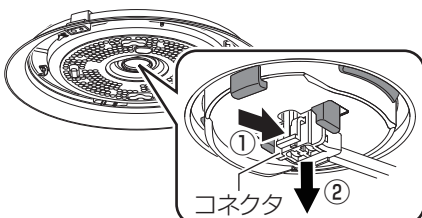
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

1

コネクタを外す

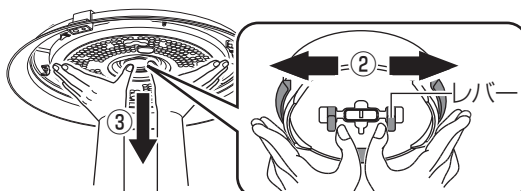
- ① つまみながら
- ② 引いて、外す



2

本体を外す

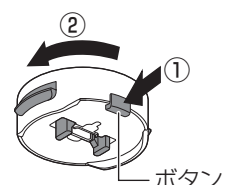
- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② レバーを矢印の方向(左右)に広げたま
- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



3

アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す

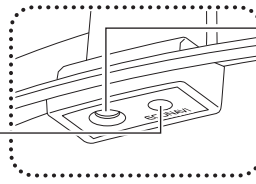


各部のはたらき

明るさセンサー

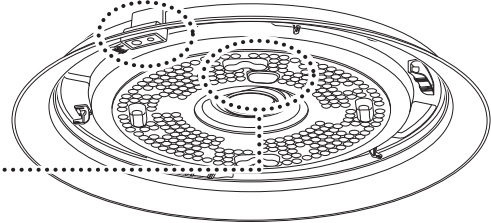
エコナビランプ(緑色)

点灯	・エコナビON ・環境設定時
点滅	明るさ変化中
消灯	エコナビOFF



明るさセンサー

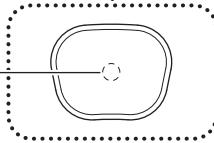
周囲の明るさを検知します。



リモコン受信器(本体)

リモコン受信部

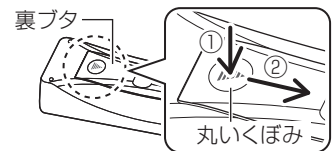
リモコンからの信号を受けます。
◎傷つけたり、汚したりしないでください。



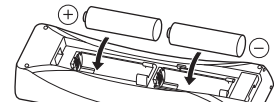
リモコンの準備

●リモコンの裏フタを開けて、単3形乾電池を2本入れる。

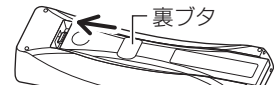
- 1 リモコンの裏フタを開ける**
①裏フタの丸いくぼみを押しながら
②スライドさせて開ける



- 2 単3形乾電池を2本入れる**
乾電池の⊕⊖を正しく入れる



- 3 裏フタをスライドさせて閉める**



●リモコンの現在時刻を設定する

お買い上げ時や電池交換時の設定のしかた

現在 00:00 時刻が点滅している場合

右記手順④から設定を行う

現在時刻を変更する場合

0:00 時刻が点滅していない場合

右記手順②から設定を行う

メモ

- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの状態では、現在時刻の変更はできません。

- 1 リモコンのフタを開ける**

- 2 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す**

現在が点滅する (おまかせとるすばんは点灯)

- 3 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す**

現在 0:00 現在時刻が点滅する

- 4 リモコンの「↑↓ボタン」を押して現在時刻を合わせる**

- 5 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す**

現在 12:34 現在時刻が点滅から点灯に変わり設定完了

- 6 リモコンのフタを閉じる**

リモコン (フタを開けた状態)



リモコン (フタを開けた状態)

リモコン送信部

※傷つけたり、汚したりしないでください。

白い色ボタン

LEDが昼光色6500K※、明るさ約90%で点灯
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

全灯ボタン

LEDが昼光色約6200K※、明るさ100%で点灯
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

エコナビボタン

エコナビ点灯を開始
☞ 13ページ「エコナビの使いかた」参照

点灯・普段ボタン

普段のあかりで点灯
(初期設定:昼白色5000K※、明るさ約70%)
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

常夜灯ボタン(蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯
(初期設定:明るさ100%)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 10ページ「常夜灯を点灯する」参照

手元灯ボタン(蓄光)

ボタンを押している間はLED手元灯が点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 18ページ「手元灯(橙)」を操作する」参照

おやすみタイマーボタン

☞ 18ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

チャンネルボタン

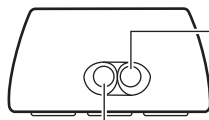
操作する器具のチャンネル(1~3)を設定
(初期設定:チャンネル1)
☞ 18ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

フタを開けて、時刻設定やチャンネル切替、エコナビの環境設定や明るさ調整を行います。

送信部1

送信部2



LED手元灯(橙)

手元灯ボタンを押している間はLED手元灯が点灯

おまかせボタン

おまかせモードを開始
☞ 16ページ「おまかせモードの使いかた」参照

暖かい色ボタン

LEDが電球色2700K※、明るさ約50%で点灯
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

明るさアップボタン

LEDが昼光色、明るさ約130%で点灯
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

消灯ボタン

調色ボタン

LEDの光の色を昼光色から電球色に連続で調節
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照

明暗ボタン

LED(100%~約5%)、常夜灯(6段階)の明るさを調節
☞ 10ページ「あかりシーンを切り替える」参照
「常夜灯を点灯する」参照

るすばんボタン

☞ 19ページ「るすばんモードの使いかた」参照

時刻設定ボタン

現在:おまかせモードのるすばんモードの時刻を設定
☞ 8ページ「リモコンの準備」参照
17ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
19ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

△Vボタン

現在:おまかせモードのるすばんモードの選択、時刻を変更
☞ 8ページ「リモコンの準備」参照
17ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照
19ページ「るすばんモードの設定時刻を変更する」参照

明るさ調整ボタン

エコナビ点灯時の最大の明るさを3段階から設定
☞ 14ページ「エコナビをより省エネで使うには」参照

環境設定ボタン

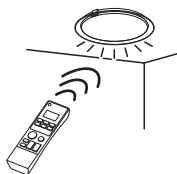
お部屋の明るさ環境を設定
☞ 12ページ「エコナビの初期設定」参照

※: K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

送信のしかた 必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

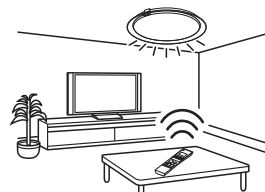
●通常の点灯・消灯の場合

「送信部1」を器具に向けて操作する。



●「おまかせモード」「るすばんモード」「おやすみタイマー」を使用する場合

寝かせた状態で点灯・消灯することを確認する。



リモコン操作時の音の消しかた

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

1 リモコンのフタを開けて「リモコン送信部」を器具に向ける

2 リモコンの「点灯・普段ボタン」と「チャンネルボタン」を同時に押す

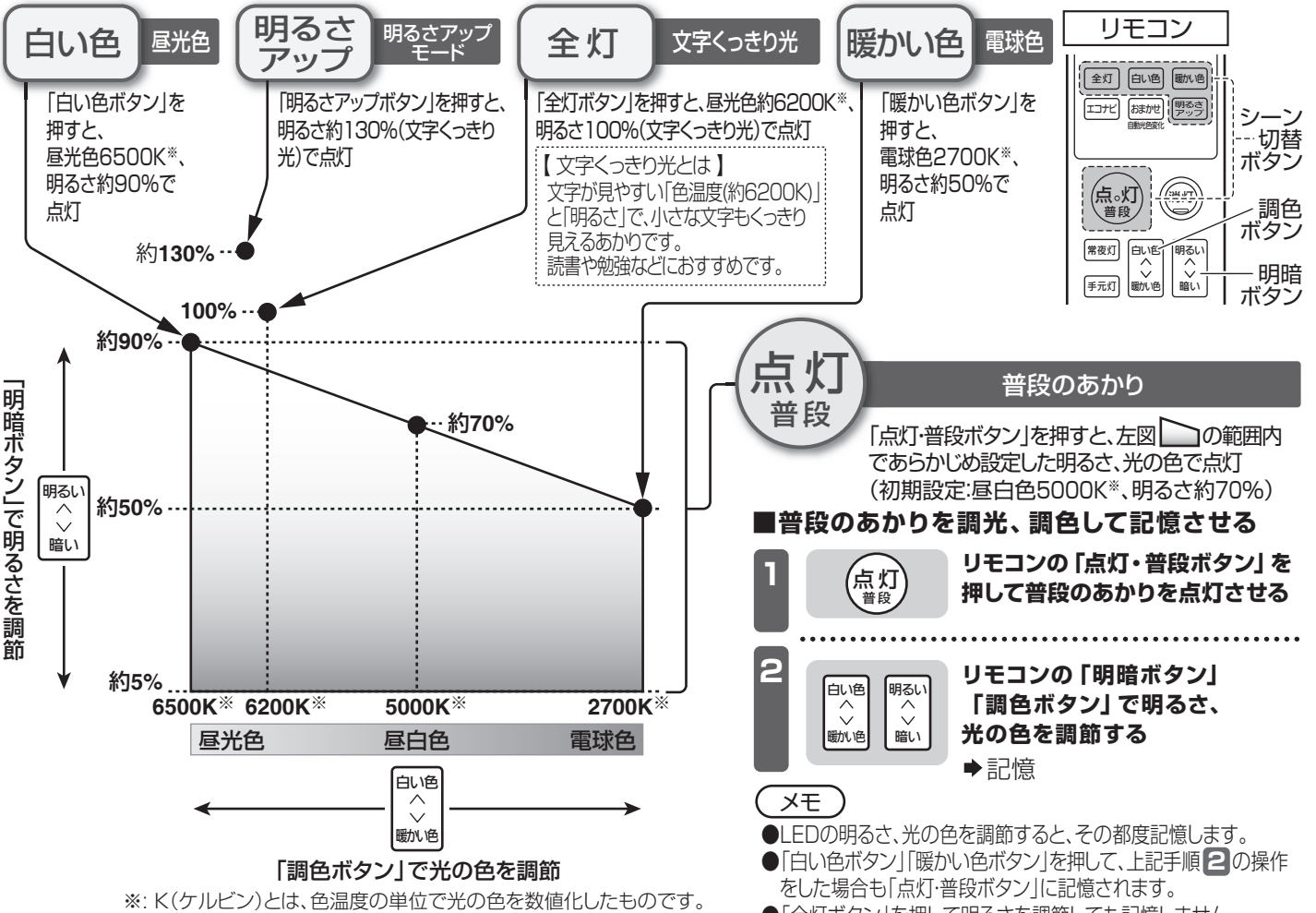
メモ リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

あかりをつける

あかりシーンを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンのシーン切替ボタンで5つのあかりシーン(普段、全灯、明るさアップ、白い色、暖かい色)が選べます。



常夜灯を点灯する

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

- 1 常夜灯 リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる
- 2 明るい 暗い リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する → 記憶

- メモ
- 6段階の明るさを調節できます。
 - 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
 - 常夜灯は調色できません。

壁スイッチで照明器具を操作する

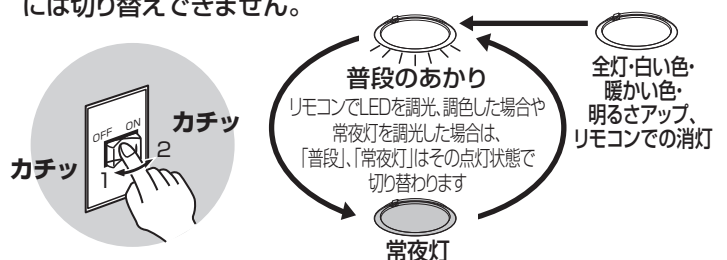
点灯・消灯する



- 「エコナビ点灯」状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも「エコナビ点灯」になります。
- 「おまかせモード」状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときもOFF前の点灯状態で点灯します。(リモコンの「おまかせモード」がONであれば「おまかせモード」は継続します。)
- 消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。
- 「全灯ボタン」で点灯後、「明暗ボタン」で明るさを調節した状態は記憶されません。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。ただし、全灯・白い色・暖かい色・明るさアップには切り替えできません。

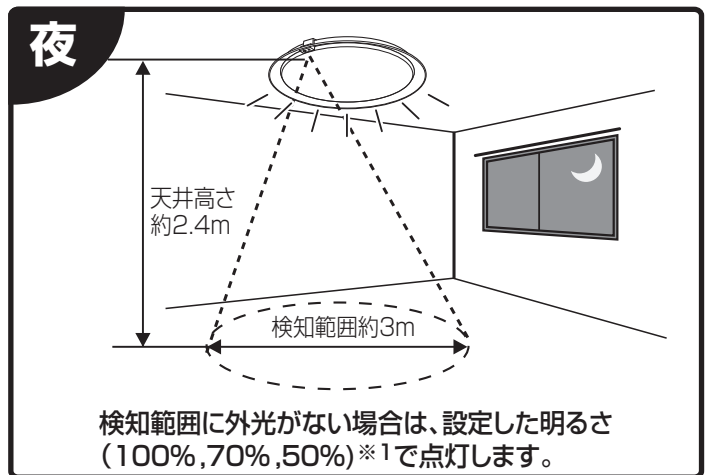
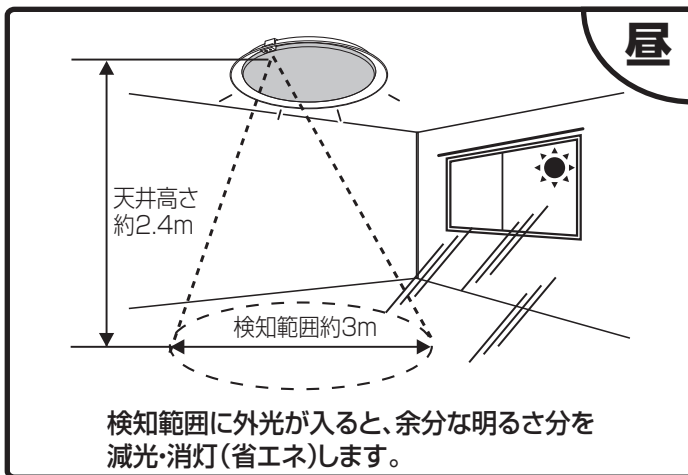


- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。



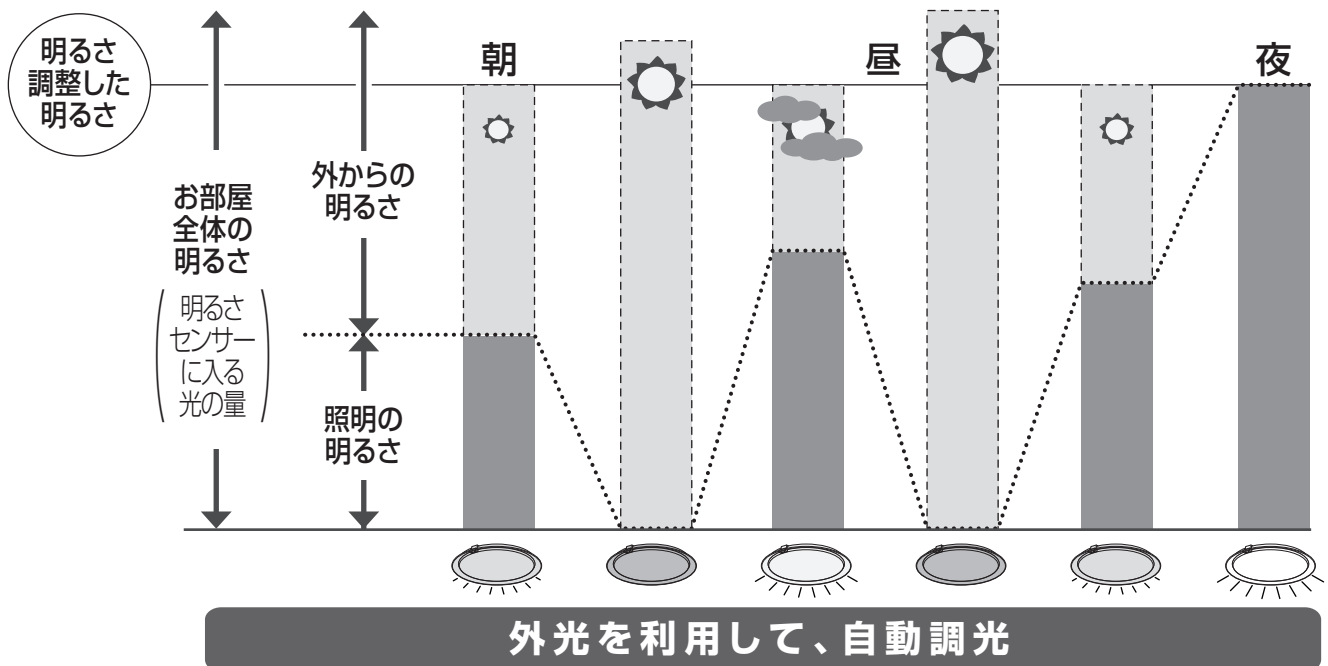
エコナビとは

明るさセンサーが検知範囲内の明るさを検知し外からの光に応じて、照明器具が自動で余分な明るさを抑えて点灯します。



※1: 設定時の光の色での明るさの割合になります。

■ 動作イメージ※2



※2: エコナビ機能をご理解いただくためのイメージ図です。ご使用されているお部屋の窓の位置や大きさ、床面の状況などの環境により、イメージ図通り動作しない場合があります。3ページ「ご使用上に関するお知らせ」【エコナビ点灯時、場合によっては下記の現象が起こることがあります】をご参照ください。

エコナビの各種設定と使いかた

エコナビの初期設定

初めてお使いになるときは必ず行ってください

■ 環境設定

エコナビを使うために、お部屋の明るさ環境を設定する必要があります。
下記の設定方法に従って、設定を行ってください。

設定方法

設定は、下記内容にそって行わないと正しい省エネ効果が得られない場合があります。

●設定は必ず夜間に行ってください。

(昼間に「環境設定ボタン」を押すと、正常に設定できません。
④22ページ「教えて!Q&A」■エコナビの設定について Q2 参照)

●照明器具から約2m離れて、設定してください。

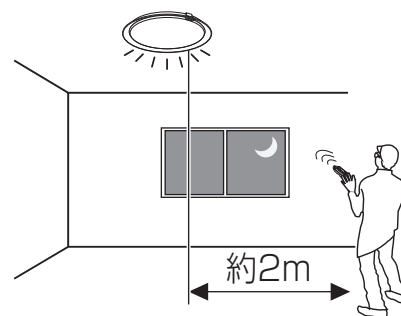
(器具の近くに人がいると、正常に設定できません。)

●近くにある他の照明は、常時点灯させている場合をのぞいて消してください。

(他の照明の光に反応して、正常な設定ができない場合があります。
④22ページ「教えて!Q&A」■エコナビの設定について Q5 参照)

メモ

設定する前に、「点灯・普段ボタン」を押して1~2時間ほど器具を点灯させると、明るさが安定し、より正確な設定を行うことができます。



1 リモコンの「点灯・普段ボタン」を押す

➡ 照明器具が「普段」のあかりで点灯

◎お部屋の明るさ環境を設定するために器具を普段のあかりで点灯させます。
エコナビ動作時の明るさや光の色の設定ではありません。

2 リモコンのフタを開ける

3 リモコンの「環境設定ボタン」を押す

➡ 「ピッ」と音が鳴り設定開始

・エコナビランプ (緑色) が点灯

◎設定中は照明器具の光の色が自動で変化します。

注意

●下記の状態のときは「ピピッ」と音が鳴り、設定できません。

- ・「エコナビ点灯」しているとき
- ・「常夜灯」が点灯しているとき
- ・「消灯」のとき

●環境設定中はリモコン操作はできません。

●環境設定中に壁スイッチをOFFにすると設定はできません。

4 約10秒以内に「ピピーッ」と音がして設定完了

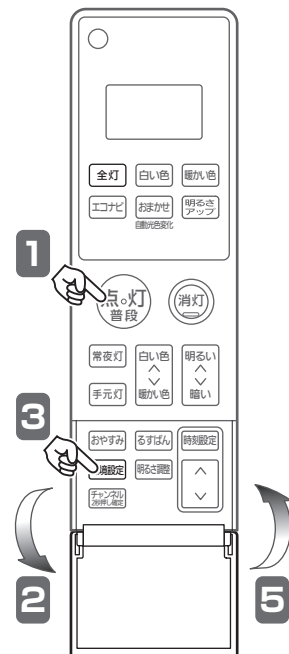
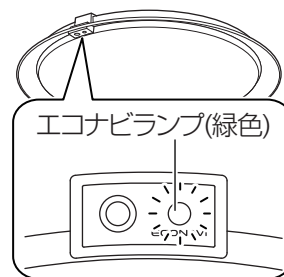
・エコナビランプ (緑色) が消灯

5 リモコンのフタを閉じる

メモ

一度環境設定すると、電源を切っても記憶しています。

リモコン (フタを開けた状態)



お願い

下記の場合には再度、環境設定を行う必要があります。

- ・テーブルやソファなどの家具の配置を替えたとき
- ・じゅうたんやカーテンなどの部屋の模様替えを行ったとき



エコナビの使いかた

■ エコナビをONにする

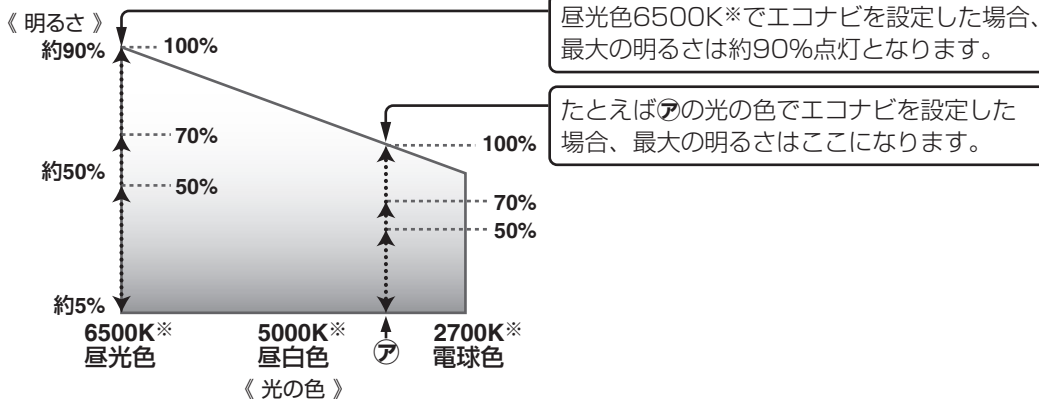
リモコンの「エコナビボタン」を押す

→ エコナビランプ(緑色)が点灯してスタートします

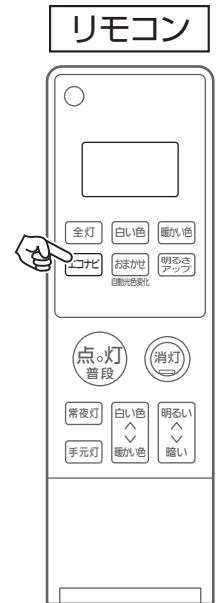
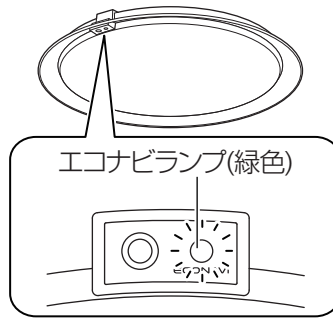
メモ

- エコナビランプ(緑色)が点滅しているときは、明るさが変化している状態です。
- 消灯状態で「エコナビボタン」を押すと照明器具が点灯してエコナビがスタートします。
 - ・ 消灯前の光の色で動作します。
(点灯時にエコナビをONした場合は) そのままの光の色で動作します。
- エコナビをONにしたときの光の色によって最大の明るさが異なります。

明るさ調整100%の場合



- ・ 明るさ調整を設定することにより最大の明るさを100%、70%、50%に設定できます。
④ 14ページ「エコナビをより省エネで使うには」参照



■ エコナビをOFFにする

リモコンの「点灯・普段」、「全灯」、「白い色」、「暖かい色」、「おまかせ」※¹、「明るさアップ」、「常夜灯」、「消灯」のいずれかのボタンを押す

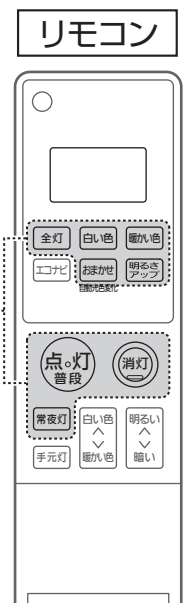
※¹: 「夜モード」の時間帯のみエコナビがOFFします。「朝モード」「昼モード」の時間帯は、「エコナビ点灯」が継続されます。

→ 押したボタンに応じた点灯状態に切り替わり、エコナビランプ(緑色)が消灯します。

メモ

- 壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONにしても、エコナビをOFFできます。(普段のあかりに切り替わります。)
- 「るすばんボタン」や「おやすみタイマーボタン」を押した場合、設定時間になると押したボタンの動作へ切り替わり、エコナビはOFFします。
(リモコンは、操作したい器具の真下などの動作する場所に寝かせた状態で) 置いてください。⑨ページ「送信のしかた」参照

いずれかを押す



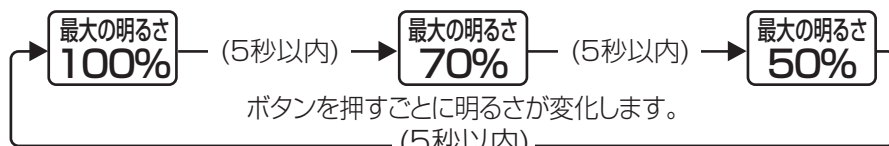
エコナビの各種設定と使いかた

エコナビをより省エネで使うには

■ 明るさ調整 エコナビ点灯時の最大の明るさを100%・70%・50%に設定できます。

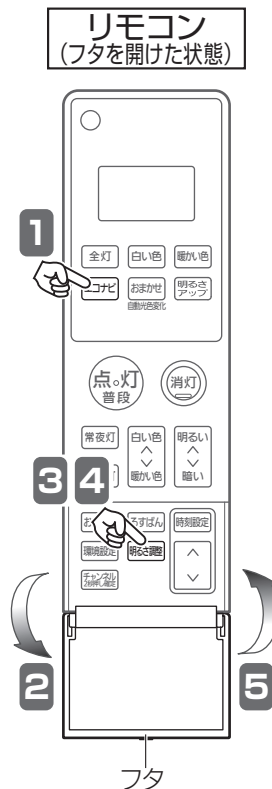
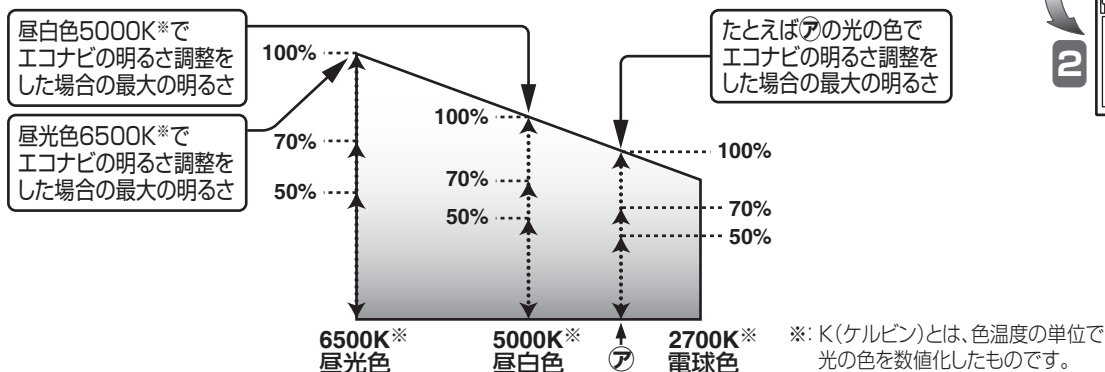
設定方法 (一連の操作を、あらかじめお読みになってから行ってください。)

- 1 エコナビがONであることを確認する
(OFFの場合は、リモコンの「エコナビボタン」を押してください。)
- 2 リモコンのフタを開ける
- 3 リモコンの「明るさ調整ボタン」を1回押す
→ 「ピッ」と音が鳴り、現在設定されている明るさ(下記の3段階のいずれか)になる
- 4 5秒以内に再度「明るさ調整ボタン」を押して下記の中から選択する



「明るさ調整」設定後(5秒後に)、設定した最大の明るさでエコナビがスタートします。エコナビ点灯時は、設定した最大の明るさと最小の明るさ(約5%)・消灯の間で明るさを自動で調節します。

- メモ 50% を選択するとLEDは最大で50%点灯となり、より省エネ効果が得られます。お買い上げ時の設定は最大の明るさ100%になっています。最大の明るさは、光の色により変わります。



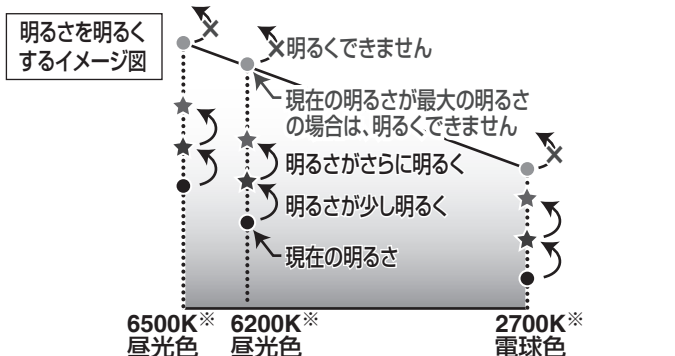
- 5 リモコンのフタを閉じる

- メモ エコナビはON状態です。OFFする場合は、P13ページ「エコナビをOFFにする」をご参照ください。

エコナビ点灯中の調光時の明るさを明るくする

エコナビ点灯中、暗いと感じたり、暗いのに自動で消灯する場合は、自動調光時の明るさを明るくできます。

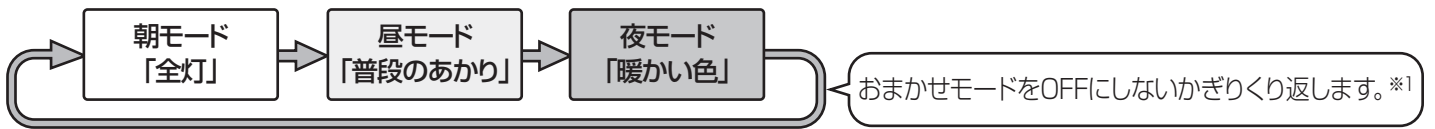
- 1 エコナビ動作中にリモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて
 - 2 リモコンの「明ボタン」を5秒以上押すごとに設定が切り替わる
(「明ボタン」を押すと最初に「ピピー」と音が鳴りますが、そのまま押し続けてください。)
-
- 5秒以上押すごとに切り替わります



- メモ ●明るさセンサーの性能上、調光時の明るさを明るくしてから明るさが変化するまで少し時間がかかります。(P22ページ「教えて!Q&A」■エコナビの動作について Q1 参照)
- 「明るさ調整ボタン」で設定した最大の明るさ以上に、明るくすることはできません。

おまかせモードとは

設定時刻になると、自動であかりのシーンが切り替わり、生活リズムを整える環境を作ります。



「朝モード」、「昼モード」のあかりの時間帯はエコナビも動作します。

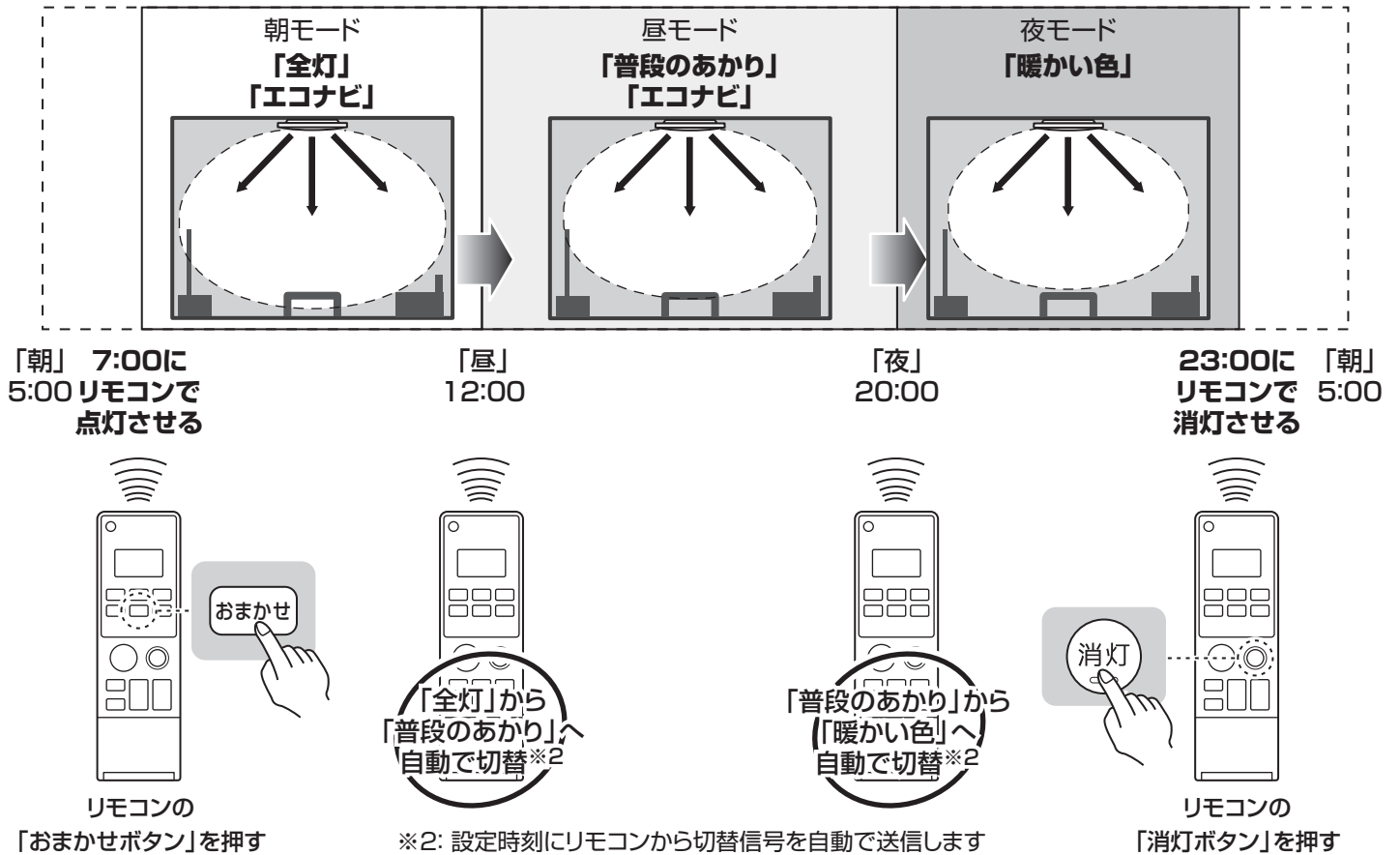
*1: 消灯または、常夜灯が点灯している場合は、自動切替をしません。

動作イメージ

あかりの切替時刻の初期設定時刻	
「朝モード」	5:00 「全灯」へ切り替わる時刻
「昼モード」	12:00 「普段のあかり」へ切り替わる時刻
「夜モード」	20:00 「暖かい色」へ切り替わる時刻

●初期設定時刻を変更する場合は、
 17ページ「おまかせモードの設定時刻を変更する」参照

たとえば・・・7:00に点灯、23:00に消灯させる場合



おまかせモードの使いかた

■ おまかせモードをONにする

1

おまかせ

リモコンの「おまかせボタン」を押す

▶ 予め設定した時刻に応じた明るさ、光の色で照明器具が点灯する

5:00
おまかせ 朝
「朝モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(朝)5:00)

約2秒後

12:00
おまかせ 昼
「昼モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(昼)12:00)

約2秒後

20:00
おまかせ 夜
「夜モード」の切替時刻が表示される
(初期設定:(夜)20:00)

約2秒後

12:34
おまかせ 昼
現在時刻に表示が切り替わり、
時間に応じたモードが表示される

メモ

- 「朝モード」、「昼モード」の時間帯は、エコナビランプ(緑色)が同時に点灯し、エコナビがスタートします。
- 「普段のあかり」は、リモコンで設定した光の色で点灯します。
- 「夜モード」時にリモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」で調光や調色を行った場合、「普段のあかり」に記憶されます。
- 「朝モード」「昼モード」時は、リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」は操作できません。
- 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」が同時刻に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。

リモコン



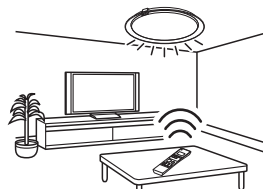
2

操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く

▶ 設定した時刻になると、自動であかりシーンが切り替わる

メモ

消灯または、常夜灯が点灯している場合は、自動であかりシーンは切り替わりません。



■ おまかせモードをOFFにする

リモコンの「全灯」、「白い色」、「暖かい色」、「エコナビ」、「明るさアップ」、「点灯・普段」、「消灯」、「常夜灯」のいずれかのボタンを押す

▶ リモコンの液晶パネルの「おまかせ」の表示が消え、押したボタンに応じた点灯状態に切り替わる

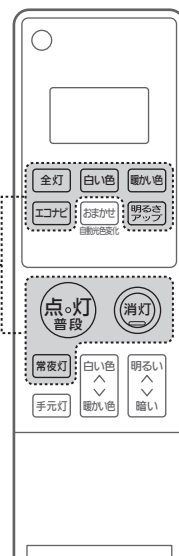
- (・「朝モード」、「昼モード」時は、エコナビランプ(緑色)が消灯する。)
- (・「エコナビボタン」でOFFした場合、「エコナビ点灯」が開始します。)

メモ

- 「おまかせモード」は、OFFにしないかぎり「朝モード」・「昼モード」・「夜モード」をくり返します。
例) 壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF → ONにした場合は、「普段のあかり」に切り替わりますが、次のモード(朝・昼・夜)切替時刻でそのモードに応じた点灯状態に切り替わります。
- 「朝モード」、「昼モード」のエコナビは、OFFにできません。
- 壁スイッチをOFFにした場合、次にONしたときはOFF前の点灯状態で点灯しますので、「朝・昼・夜モード」の時間帯がずれる場合があります。その場合は、もう一度「おまかせボタン」を押して、時間帯に合った点灯状態にしてください。(押さなかった場合は、次のモード切替時刻で時間帯にあった点灯状態に自動切替します。)
例) 「夜モード」時に壁スイッチをOFF → 「朝モード」時間帯に壁スイッチをONにすると「夜モード」の「暖かい色」で点灯します。その時にもう一度「おまかせボタン」を押すと、「朝モード」の点灯状態(「全灯」+「エコナビ点灯」)に切り替わります。(「おまかせボタン」を押さなかった場合、次の「昼モード」の切替時刻で(「普段のあかり」+「エコナビ点灯」)に自動切替します。)

いずれかを
を押す

リモコン




おまかせモードの設定時刻を変更する

注意


「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。
「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

1 リモコンのフタを開ける


2 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を2秒以上押す

 現在が点滅する
(おまかせと **るすばん** は点灯)

3 リモコンの「↑↓ボタン」でおまかせに合わせる

 おまかせが点滅する
(現在と **るすばん** は点灯)


4 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

 おまかせの朝時刻が点滅する
(初期設定:(朝)5:00)

5 リモコンの「↑↓ボタン」を押して朝時刻を変更する


- 時刻は10分刻みで設定できます。

6 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

 おまかせの昼時刻が点滅する(初期設定:(昼)12:00)
→上記手順 **5** と同様に昼時刻の変更をする

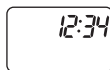
メモ 他の時間帯と重複できません。
例) 朝時刻を5:00に設定した場合
→4:50(最短の夜時間:朝時間のマイナス10分)、5:00は設定不可

7 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押す

 おまかせの夜時刻が点滅する(初期設定:(夜)20:00)
→上記手順 **5** と同様に夜時刻の変更をする

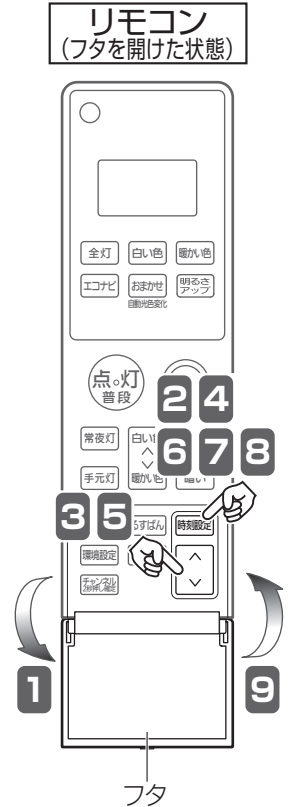
メモ 他の時間帯と重複できません。
例) 朝時刻を5:00、昼時刻を12:00に設定した場合
→5:00から12:00までは夜時刻の設定不可

8 時刻設定 リモコンの「時刻設定ボタン」を押し時刻を決定する

 12:34 現在時刻に切り替わり設定完了

- 「時刻設定ボタン」を押さないと約60秒で、前回の設定に戻ります。
- 一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

9 リモコンのフタを閉じる



リモコンの便利な使いかた

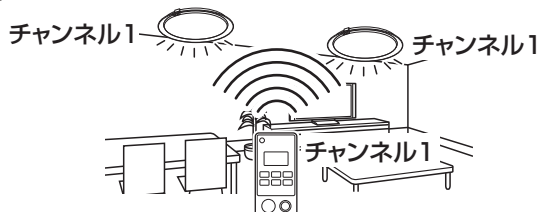
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

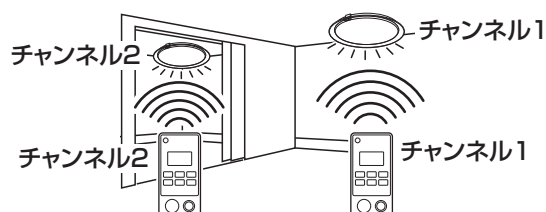
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
◎ 器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



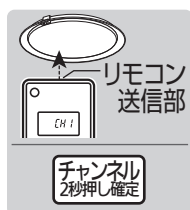
- 1 壁スイッチON **チャンネル設定を行う器具(1台)のみを壁スイッチONにする**
(周囲のリモコン照明器具は、必ず壁スイッチOFFにする※1)



- 2 **リモコンのフタを開けて「チャンネルボタン」を押し希望のチャンネル(CH1~3)に合わせる**
— 現在設定されているチャンネルが表示されます。
その後、押すごとにCH1→CH2→CH3と切り替わります。
(最後に操作してから約3秒後に表示は消えます。)



- 3 (リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて) **チャンネルが表示中にもう一度「チャンネルボタン」を2秒以上押す**
→ 「ピピーッ」と音がして設定完了



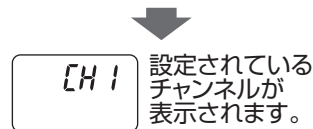
※1: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

メモ

- 本製品以外の照明を操作する場合は、ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンの「全灯」「白い色」「暖かい色」「エコナビ」「おまかせ」「明るさアップ」「常夜灯」「点灯・普段」「消灯」「調色」「明暗」のいずれかのボタンを押している間は、現在設定されているチャンネルが表示されます。



いずれかのボタンを押している間は



おやすみタイマーの使いかた

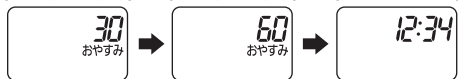
おやすみタイマーを使用するには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。☞ 8ページ「リモコンの準備」参照

おやすみタイマーをONにすると、30分または60分後に自動消灯を行います。

■ おやすみタイマーをONにする

- 1 **リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押し希望のタイマーを選択する**
(30分後消灯) (60分後消灯) (未設定・OFF)
30 おやすみ → 60 おやすみ → 12:34
押すごとに表示が切り替わります。

おやすみ



- 2 **リモコンのフタを閉めてリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く**
☞ 9ページ「送信のしかた」参照

メモ リモコンのタイマー時間表示は、1分刻みで減っていきます。

■ おやすみタイマーをOFFにする

リモコンの液晶パネルに「おやすみ」の表示があるときに

- 1 **リモコンのフタを開けて「おやすみタイマーボタン」を押す**

→ リモコンの液晶パネルの「おやすみ」の表示が消え、「おやすみタイマー」がOFFする

メモ

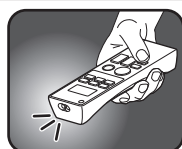
- リモコンの「消灯ボタン」を押して消灯させた場合も「おやすみタイマー」はOFFされます。
- 「おやすみタイマー」設定時間経過後、タイマー時間表示は消え、その「おやすみタイマー」はOFFされます。

手元灯(橙)を操作する

いざという時に便利な手元灯付き

手元灯

リモコンの「手元灯ボタン」を押している間、LED手元灯が点灯



注意

ひんぱんに手元灯を使用すると電池寿命が短くなります。

るすばんモードとは

リモコンで留守中に在宅を装う「るすばんモード」をONにしておくと照明器具が自動的に点灯/消灯します。
(本商品で家宅への侵入や盗難を確実に阻止することはできません。)

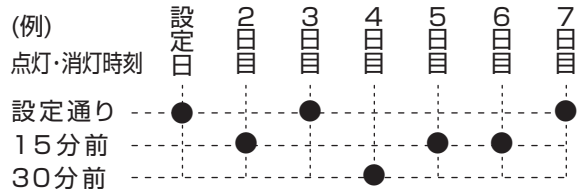
るすばんモードのはたらき

●「るすばんモード」をONにすると、留守中に照明器具が自動で点灯・消灯し、在宅を装います。

(例)初期設定
昼間は消灯
17:00になると自動で点灯
23:00になると自動で消灯



●るすばんモードはOFFにするまで毎日繰り返します。在宅を装うため、点灯・消灯時刻は「設定通り」、「15分前」、「30分前」の3パターンでランダムに変わります。(設定日は「設定通り」で動作します)



るすばんモードの設定

るすばんモードの使いかた

るすばんモードをONにする

注意 るすばんモードをONにするには、リモコンの現在時刻の設定が必要です。☞ 8ページ「リモコンの準備」参照

1 るすばん

リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

17:00 点灯
るすばん、点灯時刻が表示される
(初期設定:(点灯)17:00)

約2秒後

23:00 消灯
るすばん、消灯時刻が表示される
(初期設定:(消灯)23:00)

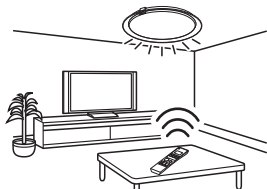
約2秒後

12:34
るすばん、現在時刻が表示が切り替わり、るすばんモードがセットされる

メモ

- るすばんモードは「普段のあかり」の明るさで点灯します。
- 「るすばんモード」、「おまかせモード」、「おやすみタイマー」が同時刻に設定された場合、「おやすみタイマー」、「るすばんモード」、「おまかせモード」の順に設定が優先されます。

2 リモコンのフタを閉めて操作したい器具の真下など、必ずリモコンが動作する場所に寝かせた状態で置く



メモ

壁スイッチOFFでは、「るすばんモード」は動作しません。お出かけの際に照明器具をOFFする場合は、リモコンで操作してください。

るすばんモードをOFFにする

リモコンの液晶パネルに「るすばん」の表示があるときに

るすばん
リモコンのフタを開けて「るすばんボタン」を押す

➔ リモコンの液晶パネルの「るすばん」の表示が消え、「るすばんモード」がOFFする

るすばんモードの設定時刻を変更する

注意 「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONの場合は、設定時刻の変更ができません。「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFしてから変更を行ってください。

- 時刻設定** リモコンのフタを開けて「時刻設定ボタン」を2秒以上押す
現在が点滅する (おまかせと「るすばん」は点灯)
- 時刻設定** リモコンの「△▽ボタン」で「るすばん」に合わせる
「るすばん」が点滅する (現在とおまかせは点灯)
- 時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す
点灯時刻が点滅する
- 時刻設定** リモコンの「△▽ボタン」で点灯時刻を変更する
●点滅している時に、時刻の変更ができます。
●点灯時刻は30分刻みで設定できます。
- 時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す
消灯時刻が点滅する
- 時刻設定** リモコンの「△▽ボタン」で消灯時刻を変更する
●点滅している時に、時刻の変更ができます。
●消灯時刻は30分刻みで設定できます。
- 時刻設定** リモコンの「時刻設定ボタン」を押す
➔ 時刻の変更が完了する
●「時刻設定」を押さないで約60秒で、前回の設定に戻ります。
●一度設定すると、電池交換までは記憶しています。

メモ 「点灯」と「消灯」の同時刻設定はできません。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ	
本体が取り付けかない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し…………… 7ページ 3 ②再度、アダプタを取り付ける…………… 6ページ 2		
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、…………… 7ページ 1 ②本体を押し上げてから…………… 6ページ 3 ③コネクタを再度、差し込む…………… 7ページ 5		
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしている	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	10ページ 「壁スイッチで照明器具を 操作する」	
勝手に点灯、消灯する	「エコナビ」がONになっている(自動消灯)	「エコナビ」をOFFにする	13ページ 「エコナビの使いかた」	
	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	19ページ 「るすばんモードの使いかた」	
	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—	
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	10ページ 「あかりをつける」	
「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」はOFFされます)	18ページ 「おやすみタイマーの使いかた」		
リモコン で操作 できない	液晶が表示しない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	
	液晶は表示している LED手元灯は点灯 する	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを 再度実施してください。	8ページ 「リモコンの準備」
		リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	18ページ 「複数のリモコン照明器具を 操作する」
		他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、 3Dテレビなど)からでる赤外線の影響により、 リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、 照明器具に対する向きを変える、 または電源を切る	—
環境設定ができない	「エコナビ」がONになっている 常夜灯が点灯しているまたは、消灯している	「点灯・普段ボタン」を押してから 環境設定を行う	12ページ 「エコナビの初期設定」	
リモコン操作時または エコナビ動作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常では ありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。		
点灯状態が 勝手に 切り替わる	「おまかせモード」がONになっている	「おまかせモード」をOFFにする	16ページ 「おまかせモードの使いかた」	
	「るすばんモード」がONになっている	「るすばんモード」をOFFにする	19ページ 「るすばんモードの使いかた」	
	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に 下記の①、②の操作を行ってください。 ①リモコンの「フタ」を開けて「リモコン 送信部」を器具に向ける ②リモコンの「チャンネルボタン」と「消 灯ボタン」を同時に押す (「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯します) ●この操作を行うと、器具の初期設定に戻 りますので、次ページの「上記の処置を行っ ても現象が続く場合」本体の処置②を行っ てください。また、記憶させていた普段の あかり、常夜灯の点灯状態も初期設定に戻 りますので、設定をしなおしてください。		
「ピピピピピピ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口 (保証書内在中)にご相談ください		

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
「おまかせモード」の朝・昼・夜モード、「るすばんモード」の点灯・消灯時刻が設定できない	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する	8ページ 「リモコンの準備」
現在時刻が点滅している			
「おまかせモード」「るすばんモード」「おやすみタイマー」が操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを再度実施してください。	9ページ 「送信のしかた」
現在時刻が点滅している(00:00で点滅している)			
「おまかせモード」であかりのシーンが切り替わらない	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが動作する場所に置く	23ページ 「お手入れについて」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	10ページ 「あかりをつける」
	常夜灯または、消灯になっている	常夜灯、消灯以外の点灯モードに切り替える	
「るすばんモード」「おやすみタイマー」で点灯または消灯しない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する ●現在時刻設定、チャンネル設定などを再度実施してください。	8ページ 「リモコンの準備」
	信号が届く範囲にリモコンがない	器具の真下など必ずリモコンが動作する場所に置く	9ページ 「送信のしかた」
	リモコンのリモコン送信部が汚れている	リモコン送信部の汚れをふき取る	23ページ 「お手入れについて」
現在時刻の変更ができない	「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」がONになっている	「おまかせモード」、「るすばんモード」、「おやすみタイマー」をOFFにしてから行う	16ページ 「おまかせモードの使いかた」 18ページ 「おやすみタイマーの使いかた」 19ページ 「るすばんモードの使いかた」
「るすばんモード」が設定時刻より早く点灯、消灯する場合がある	「るすばんモード」をONにして、2日目以降である (より在宅を装うため、2日目以降からは点灯、消灯時刻が設定通り、15分前、30分前とランダムに変わります。)	設定時刻通りに、点灯・消灯したい場合は、その日ごとに「るすばんモード」をONにする	19ページ 「るすばんモードの使いかた」

上記の処置を行っても現象が続く場合

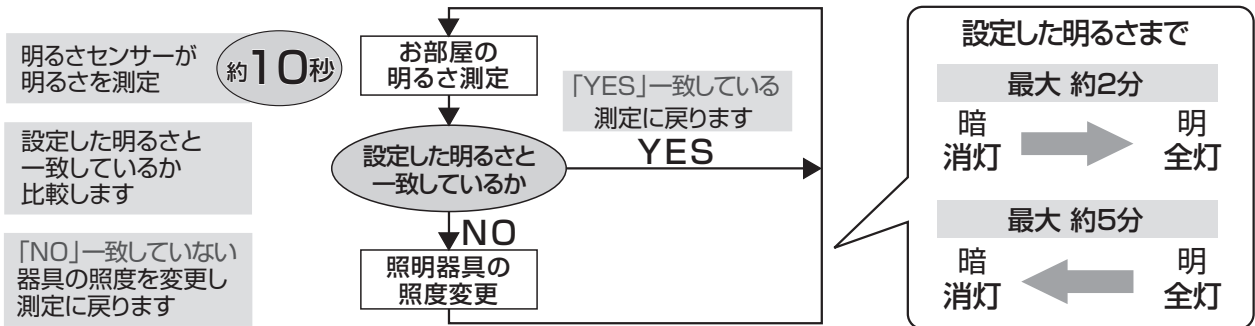
本体	①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる ②器具のチャンネルを変更する ⑮ 18ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照 ③環境設定をする ⑮ 12ページ「エコナビの初期設定」参照
リモコン	①リモコンの電池を抜き、約30分以上経ってから電池を入れる ②リモコンのチャンネルを変更する ⑮ 18ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」手順 2 参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

■ エコナビの動作について

Q1. 明るさセンサーはどんな動作をするの?

A. 約10秒間お部屋の明るさを測定し、明るさを変更するか、明るさを保つか判断します。



Q2. 検知範囲内でテレビをつけた場合はどうなるの?

A. 影響はほとんどありません。 ➡ 気になる場合はエコナビをOFFにご使用ください。
 ☞ 13ページ 「エコナビの使いかた」 エコナビをOFFにする 参照

Q3. 明るさセンサーが汚れたらどうなるの?

A. 明るさセンサーが検知しにくくなるため、 ➡ 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、省エネ効果が得られにくくなります。 乾いたやわらかい布で仕上げてください。

Q4. センサーにカメラのフラッシュが入ったらどうなるの?

A. 瞬間的な明るさ変化のためエコナビには影響しません。

Q5. 天井高さに制限はないの?

A. 標準天井高さ2.4m~3mまでを目安にご使用ください。
 天井が低いと検知範囲が狭くなり、天井が高いと検知範囲は広がります。例えば全く同じ条件のお部屋で動作比較すると、検知範囲の広い方がより周囲の明るさの影響を受けやすくなります。

■ エコナビの設定について

Q1. なぜ環境設定を行う必要があるの?

A. お部屋の明るさは家具の色や配置でも変わります。
 白いじゅうたんに白いテーブルクロスを敷いたお部屋と、黒いじゅうたんに黒いテーブルクロスを敷いたお部屋では、センサーが検出する明るさに差が出てきます。
 「環境設定」は、そのお部屋の基本となる明るさを測定し、適切にエコナビ点灯するために必要な設定です。

Q2. 外光がある状態で環境設定するとどうなるの?

A. 外からの光が入った状態で環境設定を行うと、お部屋の環境が明るいと誤測定をしてしまいます。
 その誤った明るい状態が基準となるため、それ以上のより明るい光が入らないと減光動作を行わず省エネ効果が得られなくなります。

Q3. 環境設定をしないで使うとダメなの?

A. 環境設定を行わずに、エコナビ点灯を行った場合、工場出荷状態での環境設定となります。
 (工場出荷時・一般的なリビングを想定した環境で設定しています。
 の環境設定・天井高さ2.4m、茶色のフローリング、茶色の低いテーブル、ベージュのカーテン)
 そのため環境が異なりますと、省エネ効果が少なくなったり全く得られない、または消灯してしまうというような場合がありますので、環境設定を行ったうえで、エコナビ点灯してください。

Q4. なぜ1~2時間点灯させてから環境設定した方がいいの?

A. LEDは点灯直後は明るさが不安定です。
 1~2時間お待ちいただくことにより、明るさが安定した状態で環境設定することができます。

Q5. 同じ部屋に他の照明(例:ダウンライト)がある時はどうやって設定するの?

A. 基本的には消灯して環境設定を行っていただく方が省エネ効果が得られます。
 ただし、他の照明を常時点灯させている場合は、点灯した状態で環境設定を行ってください。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。

キレイコート部(カバー外面)のお手入れ

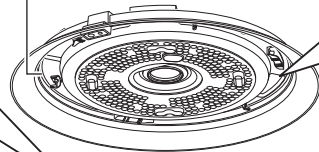
- 汚れは、やわらかい布を**水**に浸してよく絞ってから軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

【キレイコートとは】

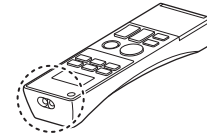
水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリや油汚れが付きにくく、付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)
(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。
◎付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。

パッキン(ムシブロック)



キレイコート
(カバー外面)



リモコン
送信部

他の部位のお手入れ

- 汚れは、やわらかい布を**右けん水**に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

【ムシブロックとは】

カバーと本体のすき間にパッキンを装着。更にパッキンには防虫剤をしみこませることでカバー内への虫の侵入を防ぎます。

確認

- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- キレイコート部(カバー外面)は、強くこすらないでください。また、水拭きの際は洗剤などを使用しないでください。コーティングはがれの原因となります。
- パッキン部は、防虫性能が低下しますので拭かないでください。

仕様

保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番				使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
ホワイト	ライトナチュラル	ダークブラウン	透明枠					
<input type="checkbox"/> LGBZ1614	<input type="checkbox"/> LGBZ1615	<input type="checkbox"/> LGBZ1616	<input type="checkbox"/> LGBZ1617	AC 100V	50/60 Hz共用	33.2W 明るさアップ時 (全灯時：25.2W)	リモコンOFF時 1W以下 (待機時状態) エコナビ点灯中 の自動消灯時 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.34A 明るさアップ時 (全灯時：0.26A)
<input type="checkbox"/> LGBZ2614	<input type="checkbox"/> LGBZ2615	<input type="checkbox"/> LGBZ2616	<input type="checkbox"/> LGBZ2617			36.9W 明るさアップ時 (全灯時：28.1W)		0.38A 明るさアップ時 (全灯時：0.29A)
<input type="checkbox"/> LGBZ3614	<input type="checkbox"/> LGBZ3615	<input type="checkbox"/> LGBZ3616	<input type="checkbox"/> LGBZ3617			41.8W 明るさアップ時 (全灯時：31.8W)		0.43A 明るさアップ時 (全灯時：0.33A)
<input type="checkbox"/> LGBZ4614	<input type="checkbox"/> LGBZ4615	<input type="checkbox"/> LGBZ4616	<input type="checkbox"/> LGBZ4617			46.5W 明るさアップ時 (全灯時：35.3W)		0.47A 明るさアップ時 (全灯時：0.36A)

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	()	—	
お買い上げ日	年	月	日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	23ページ「仕様」をご参照ください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2018 - 2020

LGBZ1614-T3A3

N1018-031020

